



Title	持続可能な開発目標（SDGs）と札幌市の取組
Author(s)	佐竹, 輝洋
Citation	北海道大学環境健康科学研究教育センター主催 WHO環境化学物質による健康障害の予防に関する研究協力センター指定3周年記念 市民講演会 「SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～」 2018年10月17日(水)開催 (北海道大学百年記念会館大会議室)
Issue Date	2018-10-17
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/71697
Type	lecture
File Information	satake.pdf



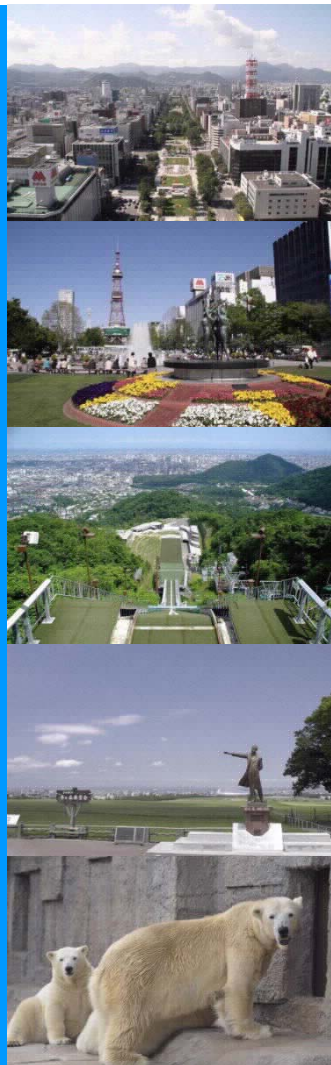
[Instructions for use](#)



2018.10.17 WHO環境化学物質による健康障害の予防に関する研究協力センター
指定三周年記念 市民講演会「SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～」

持続可能な開発目標（SDGs）と札幌市の取組

札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課
調査担当係長 佐竹 輝洋



国連「持続可能な開発目標（SDGs）」について

1 Page

2015年の9月に国連で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ (Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development)」における、17の目標と169のターゲットからなる、2030年に向けた国連加盟国193カ国共通の目標。





地球温暖化による
気象災害の増加



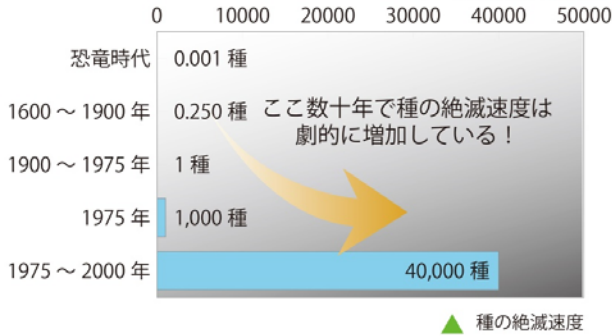
世界の
人口増加
貧富の
格差拡大



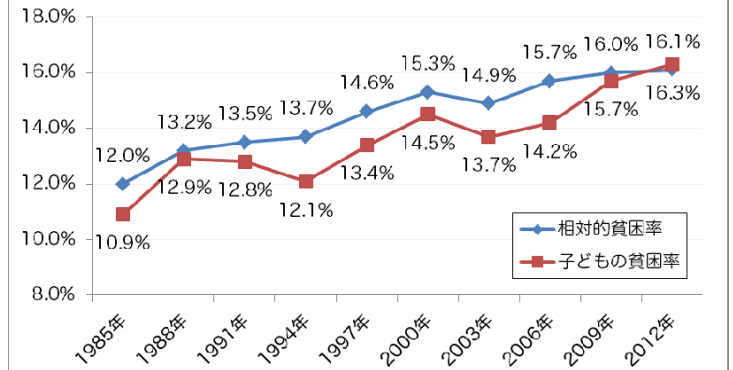
日本の貧困問題

生き物の絶滅スピードの加速化

(1年間に絶滅する種の数)



貧困率の年次推移 (国民生活基礎調査より)



現代は、次世代に地球・豊かな生活を残していくための最後のチャンス！

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

2030年に向けた、持続可能な社会をつくるための17の目標

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



理念「誰一人取り残さない (取り残されない) 」
No one will be left behind

- ➡ 「働きがい・経済成長」
「産業と技術革新の基盤づくり」
- ➡ 「貧困」や「飢餓」をなくす。
「健康・福祉」や「教育」を全ての人に。
「ジェンダー平等」「持続可能なまちづくり」
- ➡ 「安全な水」「陸」「海」の保全。
「クリーンエネルギー」「気候変動対策」
「つくる責任、つかう責任」
- ➡ 「人や国の不平等をなくす」
「平和と公正」「パートナーシップ」

**持続可能な社会をつくるため、
全ての主体が取り組む目標！**

資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成

出典：平成29年度環境白書（環境省）

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.3

2030年までに小売・消費レベルにおける**世界全体の一人当たりの食品の廃棄を半減**させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける**食品ロスを減少**させる。

世界で廃棄されている食品

日本で廃棄されている食品

札幌の家庭で
廃棄されている食品

年間約13億トン

年間約2842万トン (2015年)
うち、**食品ロスは約646万トン**

家庭ごみの中の食品ロス
年間約2万トン (2016年)

全世界の食品の
約3分の1が廃棄

国連世界食糧計画 (WFP) の
途上国への食糧援助量
約320万トン (2015年) の倍

4人家族では
約40kg、約2万3000円分
もの食品をムダにしていることに

世界が抱える問題の多くは身近な生活とつながっている。→札幌市の取組も重要

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

第1次環境基本計画
1998～2017年度

札幌が目指す環境都市像

「環境文化都市」の実現

「循環型都市」
の実現

「共生型都市」
の実現

「参加・協働型
都市」の実現

- ・地球温暖化防止
- ・森林機能の保全と育成
- ・酸性雨の防止
- ・オゾン層の保護
- ・エネルギー有効利用
- ・
- 等の各種施策

市域における環境問題への対応と、地球温暖化など課題が顕在化してきた**地球環境問題への対応が中心の施策**を展開。

第2次環境基本計画
2018～2030年度

「環境首都・SAPP_RO」

豊かな環境の次世代への継承と札幌の魅力発信

豊かな暮らしの文化が根付くことによる
「環境首都」への誇りの醸成

国内外への魅力の発信による
札幌のブランド力の強化

生活

経済

社会

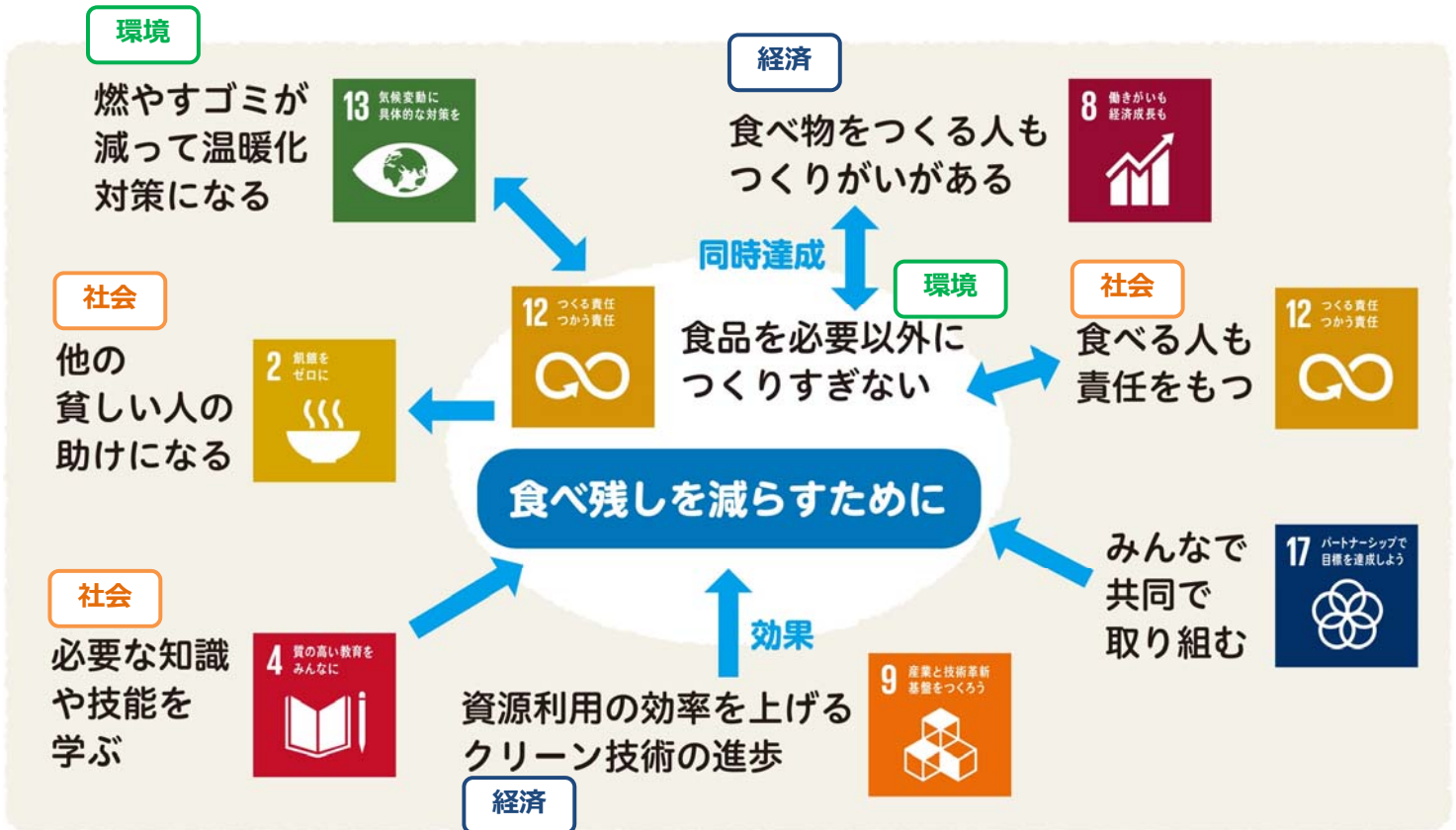
地域資源・エネルギーの活用による
北海道内の経済循環や産業振興の推進

「経済・社会・生活」に対する波及の同時実現

SDGsの考え方を踏まえ、**環境施策の推進を経済や社会等の分野へも同時に波及**させ、「持続可能な都市」の実現に向けた施策を展開。

これまで、諸問題に対し個別に対応してきた「環境対策」から、環境・経済・社会に対する波及効果を同時に達成を目指すこととした

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～



SDGsを考える ~暮らし・教育・健康~

「第2次札幌市環境基本計画」で目指す将来像と実現に向けた5つの柱

札幌が目指す将来像 (2050年頃の姿)

次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市
「環境首都・SAPPORO」

第4章 将来像を実現するための5つの柱

各柱ごとに2030年の姿と施策の方向を設定

①健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現

②積雪寒冷地に適した
低炭素社会
の実現

③資源を持続可能に活用する
循環型社会
の実現

④都市と自然が
調和した
自然共生社会
の実現

⑤環境施策の横断的・総合的な取組の推進

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成
出典：平成29年度環境白書（環境省）

環境対策をSDGs達成につなげていくことを計画に位置づけた

SDGsを考える ~暮らし・教育・健康~

5つの施策の柱ごとにSDGsを踏まえた管理指標を設定

(2) 将来像の実現に向けた2030年の姿（長期的な目標）と管理指標

市民・事業者が、地球温暖化の現状や省エネルギー・再生可能エネルギー促進の重要性を認識し、取組を実践している都市を目指します。具体的には、暖房エネルギーの削減や公共交通機関への利用促進といった家庭、業務、運輸部門での温暖化対策を積極的に進め、市内の温室効果ガス排出量の大幅な削減を目指します。

- ・札幌市内から排出される温室効果ガス排出量を1990年比で25%削減（2015年度は34%増加）
- ・札幌市内の電力消費量のうち、再生可能エネルギー消費量を30%に（2015年度は8.0%）
















◆関連する SDGs

- ターゲット7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
- ターゲット7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
- ターゲット13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
- ターゲット13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

第2次札幌市環境基本計画とSDGsとの関係

◆ SDGs と5本の柱との関連

5本の柱	SDGs																
	3 気候変動対策	4 質の高い教育をみんなに	6 清潔な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業・技術革新の基盤をつくろう	11 持続可能な都市とコミュニティ	12 持続可能な消費と生産	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう					
○健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現																	
 ①良好な大気、水、土壌その他の環境の確保	○		○					○	○		○	○					
 ②積雪寒冷な地域特性も踏まえた気候変動に対する適応対策			○	○			○	○		○							
○積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現																	
 ①徹底した省エネルギー対策の推進				○			○	○	○	○						○	
 ②再生可能エネルギーの導入拡大				○			○	○	○	○						○	
 ③水素エネルギーの活用				○			○	○	○	○							
○資源を持続可能に活用する循環型社会の実現																	
 ①廃棄物のさらなる減量に向けた2Rの推進	○		○			○		○	○	○	○						
 ②資源を有効に活用するリサイクルや廃棄物の適正処理	○		○			○		○	○	○	○						
 ③災害廃棄物の対策や自治体間での連携								○	○	○							
○都市と自然が調和した自然共生社会の実現																	
 ①生物多様性の保全	○		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
 ②水やみどりの活用、ふれあいの促進	○		○						○							○	
 ③生物多様性にも配慮した良好な景観の形成			○						○							○	
○環境施策の横断的・総合的な取組の推進																	
 ①幅広い世代への環境教育・学習の推進		○				○	○	○	○	○	○					○	○
 ②環境側面からの経済振興		○		○	○	○	○	○	○	○	○					○	○
 ③環境保全活動を通じたコミュニティの活性化の推進		○	○					○	○	○	○					○	○
 ④道内連携、様々な主体との連携の推進			○					○	○	○	○					○	○

計画で定める施策がSDGsのどのゴールに繋がるかを示し、その効果を明示

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

○高断熱・高気密な住宅に対し、国の省エネ基準を上回る基準を独自に設定し、認定を行っているほか、ベーシックレベル以上の住宅には補助制度も実施し、普及を図っている。

※その他、太陽光発電やエネファームなどにも補助制度を実施

新築住宅の等級	補助金額	外皮平均熱透過率 (UA値)[W/m ² ・K]	一次エネルギー消費量		相当隙間面積 (C値)[cm ² /m ²]
			全体	暖房+換気	
トップランナー	200万円/件	0.18以下	等級5	35%以下	0.5以下
ハイレベル	150万円/件	0.22以下		45%以下	
スタンダードレベル	80万円/件	0.28以下		60%以下	
ベーシックレベル	30万円/件	0.36以下		75%以下	
ミニマムレベル	無し	0.46以下	等級4	90%以下	1.0以下

→国の省エネ基準をミニマムレベルに設定

暖房エネルギー削減量

年間の灯油使用量 (特定の条件での参考値)



札幌版次世代住宅[ハイレベル]の例



市内で建築される新築戸建住宅に占めるベーシックレベル以上の割合

→ **53.8%** (2016年度)

2012年度→2015年度

家庭部門のCO₂排出量: **12.4%減**

※2012年度507万t-CO₂→2015年度444万t-CO₂

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」、12「つくる責任 つかう責任」などをテーマとし、北海道における資源やエネルギーの循環について「エシカル消費」や「フェアトレード」の視点から考えるワークショップを、下川町と連携して開催。

持続可能なわたしたちの消費を考える
しもかわ暮らしのエコバスツアー
2017年10月27日(金) 7:30-20:00
定員 30名
参加費 300円 (昼食は各自負担)

わたしたちが暮らしに必要なのは、国内や海外で生産されたたくさんの商品が集まる北海道最大の消費地です。その一方で、海外で作られた安くて便利な商品が大量に販売されることで、食料や森林などの北海道に重要な資源の活用や、海外の生態系に負荷がかかっていることが多くあります。消費行動のキーワードは「エシカル消費(倫理的消費)」。この「エシカル」は「良心」「思いやり」など日本人が昔から大切にしてきた考え方に近いものがあります。豊富な森林を持続可能に活用している下川町で、日頃の生活を振り返り、自分や家族、身近な人たち、そして世界のみんなや地球環境にまで思いを馳せてみませんか。わたしたちの暮らしが世界を大きく変える一歩になります。

講師紹介
末吉 里花氏 (一般社団法人エシカル協会代表理事)
松本 紹圭氏 (神谷町光明寺僧侶)

【札幌からの参加者】
エシカル消費やフェアトレードに取り組む市民団体、札幌市消費者協会等と下川町を訪れ、実施。

【開催日時】 2017年10月27日 (金) 7:30-20:00

【場所】 下川町まちおこしセンター「コモレビ」

【講師】

- 一般社団法人エシカル協会代表理事 末吉 里花 氏
- 神谷町光明寺僧侶 松本 紹圭 氏

【札幌からの参加者】

エシカル消費やフェアトレードに取り組む市民団体、札幌市消費者協会等と下川町を訪れ、実施。



今後は、地域循環共生圏の創造に資する取組に繋がってきたい。

自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として全国から選定するもので、内閣府が今年初めて実施する制度。

2018年6月15日、全国29都市が「SDGs未来都市」として選定され、札幌市もその1つに選ばれた。



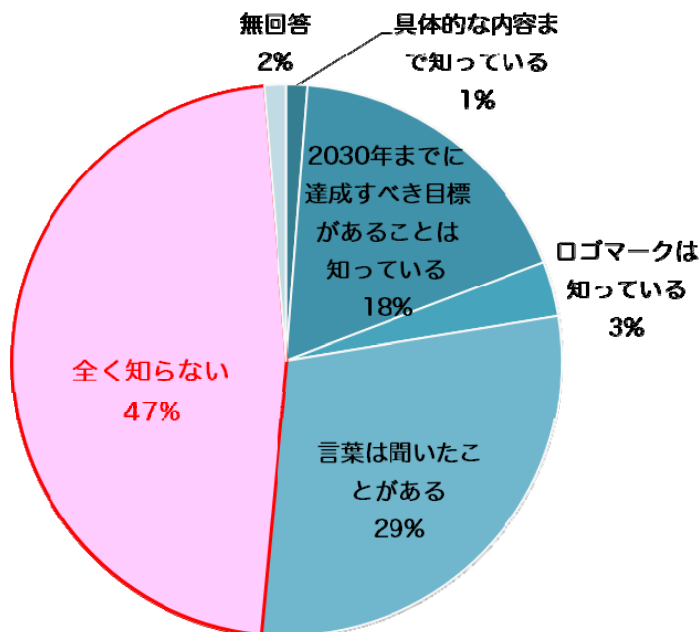
出典：国土地理院ウェブサイト (https://maps.gsi.go.jp/) の白地図をもとに作成

SDGsを考える ～暮らし・教育・健康～

札幌市民のSDGsの認知度

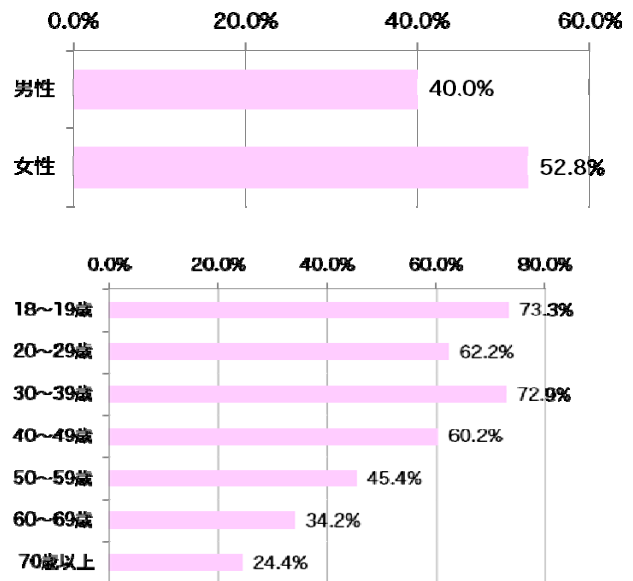
○SDGsの札幌市民認知度を確認するため、市民アンケートを実施（2018年1月22日～2月9日、郵送）。

全体回答結果



n=1,297
(うち、「全く知らない」は612)

「全く知らない」と答えた人の割合



女性よりも男性、また、年代の高い方がSDGsに関する認知度が高い傾向

省エネな賃貸住宅の選び方・住まい方マニュアル

第10次札幌市環境保全協議会からのメッセージ
「より省エネな暮らしに向けて」

札幌市内から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスのうち、約4割が建物の冷暖、照明や家電などを使う家庭から排出されており、地球温暖化対策を進めるためには、札幌市の取組に加え、各住宅での排出削減が必要となっています。

そこで、第10次札幌市環境保全協議会では、札幌市内の約半数の世帯が住む賃貸住宅に着目し、皆さまとともに取組を進めていけるよう、利用者である、学生さんや社会人の方々からもご意見をいただきながら、本マニュアルを作成しました。

省エネの取組は、温室効果ガスの削減に加えて、「光熱費の削減」につながるとともに、快適な住宅の選択によって「住環境改善」、ヒートショックや熱中症などの「日常生活のリスク低減」など、同時にさまざまなメリットを得ることができます。

わたしたちの豊かな暮らしは、さまざまな資源から得られたエネルギーを使うことで成り立っています。将来に渡って豊かな暮らしを続けるためには、環境に配慮しながら、日々の暮らしを送ることが必要です。本マニュアルが、エネルギーを大切に使う暮らしのあり方考えるきっかけとなれば幸いです。

省エネで快適な賃貸住宅に住む
賃貸住宅の選び方・住まい方マニュアル
企画・制作：第10次札幌市環境保全協議会
発行：札幌市環境局環境都市推進部環境計画課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL 011-211-2877 FAX 011-218-5108
この冊子は無償で配布しています。

COOL CHOICE
省エネで快適な暮らしを実現しよう

第10次札幌市環境保全協議会

エコドライブ普及パンフレット

ECO DRIVE
~賢いエコ運転術~

COOL CHOICE
省エネで快適な暮らしを実現しよう

札幌市
札幌市はSDGsを推進しています。

札幌市環境局環境都市推進部環境計画課
TEL 011-211-2677 FAX 011-218-5108

札幌市出前講座 資料

パートナーシップによる普及

ICLEI Local Governments for Sustainability Japan

NEWS & EVENTS

2018年07月04日
ニュース
【札幌市】Think Future SDGs Project in 環境広場さっぽろ 2018開催報告

札幌市では、2018年3月に策定した「第10次札幌市環境基本計画」において、環境効果の推進をSDGsの達成にもつなげていくことを位置付けており、様々な主体とともに取組を進めることとしています。

6月23日・24日に「環境広場さっぽろ2018」を開催し、SDGsをテーマに、持続可能な社会の形成に向けた取組を推進するメッセージ「Think Future SDGs Project」を開催しました。

ステージでは、札幌市と企業等による取組紹介のほか、中高生や企業の方々を交えたトークセッションを行い、SDGs達成に向けて意見交換しました。

また、環境省環境パートナーシップオフィス北海道（EPO北海道）の大使兼団長の進行により、札幌市と同様、「SDGs未来都市」に認定された北海道、二子町、下川町の取組者とともに、各自の取組についてSDGs達成に向けた取組を紹介しました。

詳細・関係情報
・ 詳細
・ イクレイ会員紹介 - 札幌市

（札幌市環境局環境都市推進部環境計画課）

SDGsウォーク2018
in
みんからウィークの
2018.08.04 sat
札幌 中島公園からスタート!

参加要項

多参加者募集中!

タイトル: SDGsウォーク2018

開催日: 2018年8月4日(土)
※雨天決行雨天の場合は、主催者の判断により中止。中止の場合 開催当日6:00までにご参加ください

コース: 【2kmコース】
中島公園内
【10kmコース(予定)】
中島公園→北海道大学内→北海道銀行日本橋ビル前行着前→中島公園

FAIR TRADE TOWN SAPPORO

札幌をフェアトレードタウンに!

12 つくる責任
つかう責任

FAIRTRADE



暮らしよりできることからSDGs-1
SUSTAINABLE GOALS

1. 貧困をなくそう
2. 健全な成長を遂げる
3. 持続可能な消費と生産を実現する
4. 質の高い雇用を創出する
5. 都市と人間の居住地を包摂的かつ持続可能な方法で拡大し、包摂的かつ持続可能な方法でインフラを改善する
6. 安全な水と衛生を確保する
7. 持続可能なエネルギーを確保する
8. 持続可能な産業と雇用を創出する
9. 持続可能な消費と生産を実現する
10. 人や国々の間の格差をなくす
11. 持続可能な都市と人間の居住地を創出する
12. 持続可能な消費と生産を実現する
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海洋資源を持続可能な方法で保全し、持続可能な方法で利用する
15. 陸域生態系を持続可能な方法で保全し、持続可能な方法で利用する
16. 平和と公正を達成する
17. 持続可能なパートナーシップを促進する

制作協力：札幌市環境局
コムコムデザイン HTB
www.mho.co.jp/

SDGs実現型の都市・企業・教育・家庭訪問！ スウェーデン・持続可能な社会と暮らしを探究する8日間

「出会い」と「広がり」の旅

スタディツアー ボランティア・インターンシップ

文字サイズ 大 中 小

目的で探す
行き先から探す
カレンダーから探す
体験談
説明会・セミナー
資料請求
店舗・スタッフ案内

ボランティアツアー > ヨーロッパ > スウェーデン

2017年「サステナブル国際ランキング」第1位 スウェーデン SDGs実現型の都市・企業・教育・家庭を訪問！ スウェーデン・持続可能な社会と暮らしを探究する8日間【成田発着/大阪・名古屋・仙台・札幌・福岡・沖縄・広島・長崎発の日本国内線はおたずねください】

2017年「サステナブル国際ランキング」第1位スウェーデン

SDGs実現型の都市・企業・教育・家庭を訪問！

スウェーデン・持続可能な社会と暮らしを探究する8日間

【成田発着/大阪・名古屋・仙台・札幌・福岡・沖縄・広島・長崎発の日本国内線はおたずねください】

268,000円 ~ 388,000円

旅行代金：大人お一人様/2名1室利用時/燃油サーチャージ(7,600円相当)含む。
※表示代金の他に国内空港施設使用料及び海外空港諸税(3,800円/2017年9月現在)等が別途必要です。指定外航空会社を利用する場合は、その航空会社規定の空港税、燃油サーチャージをご負担いただきます。
※日程表スケジュールは2017年8月現在のものです。

CO₂排出量
(往復)
1,400kg

100%オフセット
必要購入数
4口

540円からできる地球環境保全
カーボンオフセット販売中

日本人スタッフ
同行(現地)

組部屋OK

旅費業自
あり

英語を専ら
★★★

🔍 ツアーを検索する

目的
選択してください

行き先
選択してください

日付 ※年月での検索も可能
--- 年 -- 月 -- 日

出発地
選択してください

検索結果を表示

👍 いいね! 0 🐦 ツイート

H.I.S.スタディツアーとは?

未来に繋がる旅によう

法人・団体の皆さまへ

—新しい旅のソリューション—

企業、NGO、学生団体など
教育機関向けのサービスも
ご相談くださいませ。

スマホ版TOPは
こちらから TOUCH!

よくある質問

初めての方へ

✈️ 出発地を選択してください

成田国際空港

SDGsを考える ~暮らし・教育・健康~

17 Page

ご清聴ありがとうございました

質問・要望等は↓までご連絡ください。

札幌市環境局環境都市推進部環境計画課（北1条西2丁目）

TEL : 011-211-2877

Mali : kan.suishin@city.sapporo.jp

SDGsを考える ~暮らし・教育・健康~